



PROGRESS REPORT

Vol.4 2026.9.18

沖縄のみなさんと、次のジャングリアへ。

2026年7月25日にジャングリア沖縄は開業1周年を迎えました。

開業からのこの1年間で多くのゲストにジャングリアへ足を運んでいただき、たくさんの笑顔に出会えたありがたい1年でした。1年目で見えた課題、貴重なお声、そのすべてを2年目の力に変えていきます。

ジャングリアは、1年で完成する場所ではありません。3年、10年、15年をかけて、いつか「沖縄になくてはならない場所」と言ってもらえるよう、私たちはこれからも歩みを続けていきます。





ジャングリア沖縄、開業1周年 パーク満足度は20ポイント上がりゲストの9割が満足

2026年7月25日にジャングリアは開業1周年を迎えました。当日はオープニングセレモニーが開催され、お祝いにつけた地元の「今帰仁こども太鼓いまじん」が演舞を披露。力強い太鼓の音と、躍動感あふれるダイナミックな踊りで会場を盛り上げました。来場したゲストにはアニバーサリー限定のグッズが贈られ、100人以上のナビゲーターが笑顔でゲストを出迎えました。この1年で、アトラクションの待ち時間は最大で5分の1に短縮、1人あたりの体験数は2倍へと増加。その結果、開業月に69.2%だったパーク満足度は、2026年5月の調査で89.2%まで約20ポイント上昇し、10人に9人の方に「満足した」と言っていただけのパークへ進化しました。2026年7月25日の1周年当日は晴天に恵まれ、たくさんのゲストとナビゲーターの笑顔であふれる1日となりました。



沖縄出身のお笑い芸人がジャングリア沖縄の応援団に 応援団長はガレッジセールゴリさん



1周年プログラムの一環として、沖縄出身のお笑いコンビ・ガレッジセールのゴリさんが「ゴリ応援団長」に就任。ゴリさんはアトラクション「やんばるフレンズ」でキャラクター(シシ)の声を担当するなど、開業前から地域視点でパークの歩みを見つめてきた方でもあります。応援団長として、来場者目線で「暑さ対策」や「子ども連れの過ごしやすさ」などをチェックし、良い点は評価し、足りない点は忖度なく、率直に指摘。「地元の声」を反映し、地域と共に魅力を育てていく「パークづくりのパートナー」です。

そして、沖縄県内の人気芸能事務所である株式会社オリジンilからこきざみインディアン、ノーブレイキ、あつきにいにい。有限会社FECオフィスからなかち、知念臣悟、いさお名ゴ支部がジャングリア沖縄応援団として参画(敬称略)。地元のテレビ・ラジオやCMなどで人気を誇り、県民から深く愛されている両事務所の所属タレントたちが、パーク内でのエンターテイメントでもコラボレーションして盛り上げるほか、ゲストや県民のリアルな目線に立ってジャングリアを共に育てていただく、大切なパートナーとして様々なコンテンツへ参加する予定です。

【ゴリ応援団長による就任メッセージ】

このたび、ジャングリアの「ゴリ応援団長」をお引き受けすることになりました、ガレッジセールのゴリです。実は僕、開業前から「やんばるフレンズ」のシシ役として、このパークには関わらせてもらっているご縁がありました。ジャングリアの存在は他人事ではなくて、開業からのこの一年、嬉しいことも、もどかしいことも、自分のことのように感じてきました。そんな中で今回、「応援団長」というお話をいただいて、即答で「やらせてください」とお伝えしました。応援団長ですが、忖度はしません。沖縄生まれの一人として、来園された方の気持ちで、しっかり見て、感じたことをお伝えしていきます。良いところはきちんと良いと、足りないところはきちんと足りないとはっきりお伝えする。それが本当の応援団長の役目だと思っています。沖縄のみなさん、ジャングリアファンのみなさん、気になることがあったら、ぜひ僕に教えてください。ゴリゴリ、伝えていきますから。



夏こそ、最高の体験を

日陰で涼しい休憩スペースが新設
2026年の暑い夏にパークを快適に過ごす



2026年には大型の休憩スペースがパーク内に3箇所新設されました。6月19日からショーを行うブリーズ アリーナ内に団体ゲストと一緒に休憩をとることができる屋根付きの休憩エリア(約260名収容)、7月10日には屋外レストラン「ワイルドバンケット」に大型シェード座席(約140名収容)、7月23日にはビレッジ バザールのショップ内エリアを一部休憩スペース(約40名収容)としてリニューアルし、ゲストがパークで休憩できるスペースを確保しています。

パークの満足度調査において、不満足と回答された方の割合は昨年比で6割減少。「日よけや休憩スペースがほしい」とのゲストからの声をパーク改善に活かした成果です。ブリーズ アリーナやワイルドバンケットからは、ショーが鑑賞でき、食事中のゲストや、ゆっくりと座りながらエンターテインメントを楽しむゲストの姿が見受けられました。大自然を満喫いただくために屋外スペースが多いジャングリアでも、適切に休憩を取ることができるスペースを確保することで1日を通して快適に過ごすことができる環境を整えています。

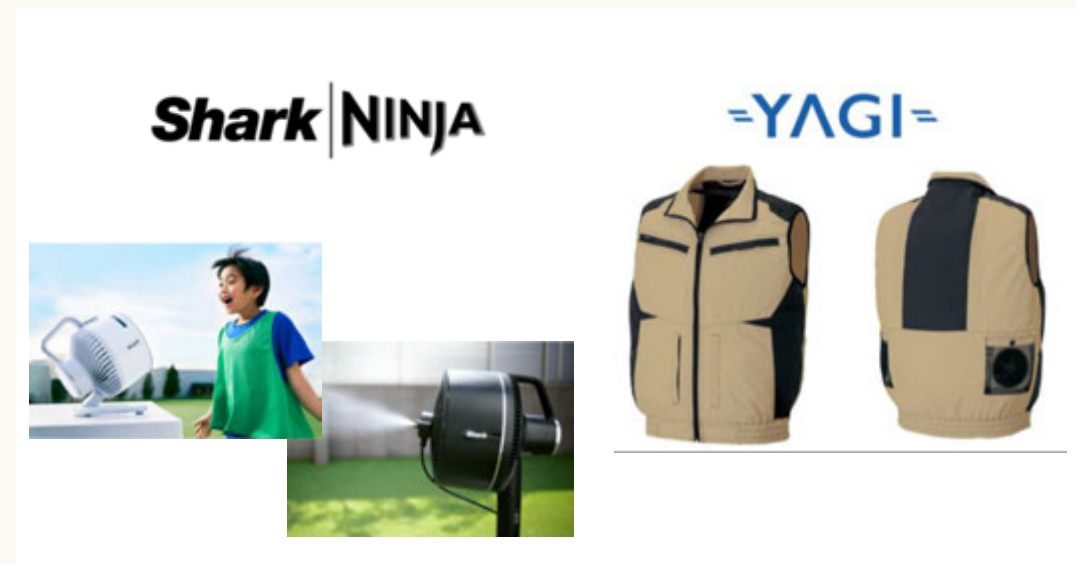
夏こそ、最高の体験を

夏の沖縄は濡れたもん勝ち！
大人も子供もびしょ濡れで大騒ぎ



夏のパークをさらに涼しく盛り上げる「夏のびしょ濡れ大作戦」が2026年7月18日から始まりました。「沖縄の夏を涼しく過ごしたい」「夏ならではの刺激がほしい」というゲストの要望に応え、水を使ったエンターテインメントの規模を大幅に拡大。新たに登場するのは、パーク内を巡りゲストに強烈な水しぶきを放つ「特殊冷却部隊(ウォーターレンジャー)」、音楽と巨大水柱が一体となるダンスショー「スクールダンス」、太古の森の朝霧を思わせる癒やしの「ミストエリア」、水鉄砲で的を狙う「ウォーターシューター ターゲット」の4つです。これらに加え、人気の「ジャングリア スプラッシュ フェス」や「クールダウン ウォーター パーティー」も連日開催され、パーク全体がびしょ濡れで爽快な夏モードに包まれます。この夏にジャングリアを訪れたゲストは、撥水性のウェアに身を包む方や、着替えを準備して、思いっきりびしょ濡れになる体験を楽しむ方がパークの随所で見られました。暑さを吹き飛ばすジャングリアならではの熱狂的な体験はこれからも続きます。

待ち列に涼しい風を届ける高性能ファン増設
快適な労働環境も整え、暑さ対策を両面で強化



夏のパーク体験をより快適にするため、暑さ対策を大幅に強化しています。暑さに立ち向かう企業との協業プログラム「JUNGLIAクーリングパートナー2026」に、新たにシャークニンジャ合同会社と株式会社ヤギの2社が参画し、パートナー企業は計17社となりました。アトラクションの待ち列や主要な休憩エリアに、シャークニンジャ製の高性能ファン(扇風機)を約100台増設。ミスト機能を備えたモデルなど、涼風とミストで空間を冷却し、ゲストの快適性を高めました。また、屋外作業を行うナビゲーター(従業員)向けに、株式会社ヤギよりベストタイプのファン付きウェア(空調服)を約100着提供いただきました。これにより、スタッフの労働環境と熱中症対策を改善し、より良いサービス提供を目指します。「沖縄だからこそ味わえる夏を最高の体験にしたい」という共通の思いのもと、ハード面とソフト面の両方から暑さ対策を推進することで、夏の沖縄を誰もが我慢することなく満喫できる環境づくりに取り組んでいます。

より良い体験をお届けするために。



もっと自由に、もっと贅沢に。
進化するジャングリアの新チケットラインアップ



ジャングリアは、ゲストの多様な旅のスタイルに寄り添うため、チケットラインアップを進化させています。2026年6月10日より、限られた沖縄旅行の合間にもパークの魅力を凝縮して楽しめる短時間滞在にぴったりの「ふらっとチケット」を導入。1Dayチケットよりも手軽な価格設定としながら、アトラクション1回体験に加え、人気のショーやグルメ、ショッピングを自由に楽しめる本チケットは、「近くの美ら海水族館観光と合わせて楽しみたい」「北部観光の空き時間に行きたい」などの新たな来場ニーズを掘り起こしました。この確かな手応えを受け、当初9月末までとしていた期間限定販売から、10月以降のレギュラーチケット化が決定しています。さらに8月には、パークを余すことなく満喫したい方向けの最上位チケット「ロイヤルチケット」が新登場。主要4つのアトラクションへの優先案内、人気レストランの優先案内やソフトドリンク飲み放題など、特別な1日を演出するVIP特典を凝縮しました。ゲストの声をパーク内体験へとつなげる姿勢こそ、この1年でジャングリアが積み重ねてきた実践知です。

小さなお子様のいるご家族にも、新しい楽しみ方を。
2つのラリープログラムが誕生



ジャングリアの魅力は、個々のアトラクションだけにとどまりません。2026年8月1日、パーク全体を舞台にした新たな冒険「ジャングリアトレジャーラリー」と「ジャンのおしゃベリクイズラリー」が誕生しました。絶叫アトラクションが苦手なお子様や、まだ身長・体重制限で楽しめるアトラクションに限られるご家族連れでも、年齢を問わずどなたでも自分のペースで参加でき、パーク全体を親子で歩きながら楽しめる新しい体験です。ジャングリアトレジャーラリーは、ゲストがスマートフォンを片手に、パーク内約20カ所に隠された宝箱を探し、謎解きミッションに挑戦します。宝箱を探して歩く道中では、やんばるの季節の草花、時にはめずらしい生き物にも出会え、大自然との触れ合いもまた宝探しの楽しみのひとつです。ジャンのおしゃベリクイズラリーは、「やんばるフレンズ」のキャラクター、ヤンバルクイナのジャンのプラッシュ(ぬいぐるみ)とクイズラリーマップを持って、パークに点在する7つのクイズに答えていきます。愛らしいジャンと一緒にパーク内を巡り、やんばるの動物たちが出すクイズの答えを集めて「ひみつのことば」を完成させると、ギフトと認定証が贈呈される冒険心くすぐる体験です。これらのラリーはアトラクション間の移動時間や待ち時間さえも、家族で心躍る体験の時間へと変わり、小さな発見と喜びが積み重なります。パークを歩くこと自体が、家族の思い出になる。ジャングリアらしい新しい一歩です。

より良い体験をお届けするために。

「トレジャー ファイト」がリニューアル
仲間との絆が深まるチーム戦が、さらに熱く進化



ジャングリアでは、開業後も日々寄せられるゲストの声に真摯に向き合いながら体験のブラッシュアップを重ねています。その一環として、「トレジャー ファイト」の体験を幅広い層の方にお楽しみいただけるよう根本から見直し、1周年直前の7月18日から、よりシンプルなルールでチーム戦を楽しむことができる、新しいトレジャー ファイトが開始しました。「相手より多くポイントを奪ったチームが勝利」というシンプルなルールに刷新したことで、小さなお子様から大人まで、国内外どなたにも直感的にお楽しみいただける内容へと生まれ変わり、家族みんなと一緒に楽しめるアトラクションへと進化しました。勝利チームには特別なギフトを用意するなど、達成感を演出する仕掛けも新たに加えています。あわせて体験同意の手続きも簡略化し、参加へのハードルを下げました。リニューアル後は満足度も大幅に向上しており、多くのゲストから好意的な声が寄せられています。いただいた声に、これからも真摯に耳を傾けてまいります。

一瞬の興奮を、特別な思い出へ。
撮影可能なアトラクションを大幅拡大



ジャングリアでは、これまでも一部のアトラクションで体験中の撮影が可能でしたが、この度、対象を大きく拡大しました。新たに解禁されたのは、大迫力のアトラクション「ダイナソー サファリ」をはじめ、「スカイ フェニックス」「スカイエンド トレッキング」「ツリートップ トレッキング」といういずれも人気の高いアトラクションです。「ジャングリアならではの体験を自分のスマートフォンに残したい」というゲストの声から改善にいたりしました。あわせて、思わずシェアしたくなるかわいいウォールアートなど新しいフォトスポットもパーク内に新設いたしました。ダイナソー サファリでは、特殊車両に揺られながら間近に迫る恐竜の迫力をそのまま撮影できるようになり、多くのゲストに喜んでいただいているほか、SNS上でも続々と拡散され、新たな話題を呼んでいます。開業当初は、運営の安定化とゲストの安全面を最優先する中で叶わなかった取り組みが、1年間のパーク運営の成長を経て、より多くの笑顔をお持ち帰りいただけるようになりました。これからも、ゲストの「残したい」「伝えたい」という気持ちに寄り添いながら、進化を続けてまいります。



地域とともに歩む。

1周年を迎えたジャングリアはより沖縄に深く根ざし、地域共創のプログラムをさらに強めています。沖縄の未来を地域と共に創る「おきなわ未来づくりプログラム」は支援の輪を広げ、「ジャングリア沖縄 もっと近くにプロジェクト」は3回目となるイベントを名護市で実施。地域との連動イベントもパーク内や沖縄県内の各所で開催されました。



地域とともに歩む。

世界へ渡ったエイサーが、地元に戻ってきた日。
「おきなわ未来づくり基金」の支援が繋ぐ想い



「おきなわ未来づくりプログラム」は、ジャングリア沖縄と県内外のパートナー企業約20社が手を取り合い、沖縄が抱える社会・観光課題の解決を共に目指す共創の枠組みです。このプログラムを通じて設立された「おきなわ未来づくり基金」は、地域の未来を担う子どもたちの夢を具体的に後押しする活動が続けており、開業から1年を経た今も着実に歩みを重ねています。支援の一環として、今帰仁村の創作エイサー団体「今帰仁子ども太鼓いまじん」の挑戦を後押ししました。子どもたちは7月4日、アメリカ建国250周年を祝う記念パレードに参加するため海を渡り、ワシントンの舞台上で沖縄の心を力強く表現。基金では渡航費の一部として50万円を支援いたしました。そして帰国後の7月25日、開業1周年を迎えたジャングリアのオープニングセレモニーにいまじんの子どもたちが再び登場。息の合った太鼓の音とエイサーの舞は来場者の心を大きく揺さぶり、節目の日を沖縄らしい熱気で包み込みました。こうしたひとつひとつの支援の積み重ねが、地域と共に歩む基金の理念そのものです。これからも高度観光人材の育成・地域教育、ひとり親家庭への支援、自然・文化の保全など、沖縄の未来につながる多様な挑戦を後押ししてまいります。

災害時の地域連携を迅速に 北部3市町村と災害時の連携協定を締結



2026年9月4日、ジャパンエンターテイメントは、周辺の今帰仁村、名護市、本部町の3市町村と「災害時における相互連携及び防災協力に関する協定」の締結式を行いました。近年、台風をはじめとする自然災害の影響が激甚化するなか、地域に根ざす大規模施設として、災害時に地域住民の皆様の不安や困りごとに対して協力できることを明確にし、自治体との連携を改めて強化することといたしました。2026年6月の台風6号および9月の13号においても、すでに3市町村で被害を受けられた住民の皆様を対象とした「スパ ジャングリア」での入浴支援等を実施しています。本協定により、災害発生時は自治体からの要請を受け、スパ ジャングリアでの入浴、トイレ提供、スマートフォン等の充電支援、駐車場などの一時避難場所提供(今帰仁村・本部町対象)を原則無償で支援します。ジャングリアは、非日常の興奮や感動を提供する場であると同時に、いざという時には地域の皆様の助けになる「安心の拠点」でありたいと考えています。これからも地域社会の一員として、災害発生時のみならず、日頃から地域の中で私たちができることを拡大し、皆様の安心と笑顔に寄り添った取り組みを進めていきます。

地域とともに歩む。

地域の魅力を訪れたゲストへ届ける
広がり続ける地域のコラボレーション



地域共創のプログラムの一環として、沖縄を代表するオリオンビール株式会社との特別コラボレーショングッズを発売し、続いてやんばるの動植物を独自の色彩で描く地元在住のアーティストMEGU WAZOUSKIとのコラボレーションアイテムを展開しました。さらに「いいあんべえ」をコンセプトに掲げる沖縄発アロハブランド「Eanbe」とのコラボレーションアイテムも登場。取引登録事業者である約500社の内半数が県内企業を占め、地元企業からアーティスト、ブランドまで、地域連携の輪が着実に広がっています。パークで扱う約600点のアイテムのうち9割以上がオリジナル商品であり、沖縄の伝統工芸をはじめとする地域の魅力と、ジャングリアの世界観を掛け合わせた商品づくりを一つひとつ丁寧に重ねてきました。今後もこうした共創のかたちを増やしながら、沖縄のさらなる魅力を国内外へと広げてまいります。



地域とともに歩む。

地元の魅力がパークに集結
わがまちウィークを開催



地域の自治体、観光協会、商工会と連携し、日頃からジャングリアを支えてくださる住民への感謝・還元と、地域文化・観光・物産の魅力発信を同時に実現する、新たな地域共創プロジェクト「わがまちウィーク」を2026年より開始しました。名護市スペシャルウィークは2026年7月4日から7月12日まで、今帰仁村スペシャルウィークはジャングリアの開業1周年である2026年7月25日～8月2日の期間に開催。期間中は、対象地域への勤務・通学者向けの特別優待チケット販売に加え、地元団体によるステージパフォーマンス、物産販売、地域PR活動、スパでの地域特産品を活用したお風呂を実施しました。併せて名護市内福祉関係団体等に所属の小中学生向けの招待ツアーと、呉我山区住民のモニターツアーも開催しました。ジャングリアは、今後も県内の各自治体との連携を広げながら「わがまちウィーク」を順次開催予定です。地域の皆様にはパーク来場のきっかけに、そして遠方の皆様へはジャングリアを通じて地域の魅力を知るきっかけを創出することで、地元経済の活性化に貢献してまいります。

今帰仁村の特産物パインアップル ジャングリアで出発式



パインアップルの生産が盛んな今帰仁村は、「ゴールドバレル」や「サンドルチェ」といった品種がふるさと納税の返礼品として人気です。今帰仁村は毎年夏の出荷時期に今帰仁村ふるさと納税返礼出発式を開催しておりますが、2026年7月14日には初めてジャングリアの屋外レストラン「ワイルド バンケット」にある大型屋根付きスペースで開催されました。式典には今帰仁村長、パイン産地である湧川区長、そしてジャングリアを運営するジャパンエンターテイメント副社長といった関係者に加えて、今帰仁村の園児が参加しました。出発式当日は関係者と園児たち、そして来場するゲストへ村内で収穫されたパインアップルがふるまわれました。今帰仁村に根ざす企業として、地元自治体や地域経済の活性化に少しでも貢献したい思いから、本イベントを通じて、旬の地元特産品の魅力や今帰仁村のふるさと納税を広く発信するとともに、招待した地元の園児たちへ特別な体験を提供しました。「地域と共に歩むパーク」として、地域社会との絆をより一層深めてまいります。

地域とともに歩む。

地元からの温かいエール
私たちの背中を押してくれる「声の葉っぱ」は5,300枚に



2025年よりスタートした「ジャングリア沖縄 もっと近くにプロジェクト」。まだジャングリアへ来たことのない方にも、もっと身近に感じてもらいたい——そんな思いから、私たちはパークを飛び出し、出張イベントを開催しています。第3回目の開催地として、7月4日(土)・5日(日)の2日間、地元・名護の大型ショッピングセンターへ足を運びました。会場では、人気のエンターテインメントショーやナビゲーターなりきり体験を実施。葉っぱをかたどったメッセージカードに、ご意見や感想を書いていただくと、豪華景品が当たるガラポン抽選会に挑戦できる企画も、大変ご好評をいただきました。会場に並んだ葉っぱには、「沖縄唯一のテーマパークだからがんばって欲しいです!」という熱いエール、「ジャングリアに4回遊びに行きました。楽しかった!! また行きます」というリピーターの声、「子どもが遊べるアトラクションを増やしてほしい」という率直なご意見などが並びました。一枚一枚に込められた温かい言葉は、私たちにとって何よりの励みであり、日々の活力です。いただいた声を胸に、これからも県民の皆さまに愛されるパークを目指してまいります。

地元「今帰仁まつり」に初出店
食に込めた想いを祭りの一皿に



地元今帰仁村の夏の風物詩である「今帰仁まつり」が2026年8月22日(土)・8月23日(日)に今帰仁村総合運動公園で開催されました。ジャングリアも初めて出店し、この夏祭りの仲間に加えていただきました。出店にあたり大切にしたのは、パークが大事にしている「食」への想いを、そのまま地域の会場でも感じていただくことでした。ジャングリアのレストランでは、提供するメニューの約7割に沖縄県産の食材を使用しています。これは、「沖縄の土地の恵み＝地域の価値」を「消費者の価値」に変えるという私たちが大切にしている想いです。今回の祭りでは、パークで愛されているこの味づくりをもとに、限定メニュー「シーフードそばちゃんぷるー」を新たに考案。シェフがブース内で一つひとつ丁寧に調理し、出来立てをご提供。あわせて、パークで人気の「あおぞらゼリードリンク」やビールなどもお楽しみいただきました。シェフが目の前で仕上げる出来立ての味に、多くの方が足を止め、温かい声をかけてくださいました。地元の皆様に長く愛されてきた大切なお祭りに加えていただけたこと、心より感謝しております。これからも、こうした機会を通じて地域の賑わいの一助となれればと考えています。

地域とともに歩む。

沖縄の熱狂を、ともに創る。
地域スポーツとの連携がもたらす盛り上がり



ジャングリアは、沖縄が誇るプロスポーツチームとの連携を通じて、地域の皆様と感動を分かち合っていました。県内外で絶大な人気を誇る「琉球ゴールデンキングス」のホームゲームでは、熱気渦巻く沖縄アリーナにジャングリアのエンターテイナー総勢20名が登場し、迫力のショーとVR体験で新アトラクションの魅力を発信。約8,000人のファンとともに、試合の熱気をさらに盛り上げる非日常のワクワクを演出しました。また、1万人を超える観客がスタジアムに詰めかけた「FC琉球 全島サッカー祭り」にも参加。人気キャラクター「ジンバーニョ」とジャングリアのショーのコラボや、夏の超爽快ダンス「スコールダンス」をパーク外で初めて実施し、会場を巻き込む熱狂を創出しました。パークの中だけでなく、県内各地の熱気ある舞台でも、「ジャングリアの世界観」を直接ご体感いただくことで沖縄全体の盛り上がりにも貢献してまいります。



地域の夏を、共に盛り上げる。
「名護市青年エイサー祭り」で見せた、パークの外での輝き



2026年8月16日、名護市の21世紀の森公園の屋外ステージで開かれた「第36回名護市青年エイサー祭り」は、旧盆明けの北部を彩る夏の風物詩として親しまれ、例年4,000人規模のファンが訪れる人気イベントです。地元青年会や大学エイサー団体による迫力の演舞が並ぶ中、ジャングリア内の人気ショー「ジャングリア スプラッシュ フェス」のダンサーたちも特別ステージに登場し、力強く爽やかなパフォーマンスで会場を沸かせました。リハーサル段階から「ジャングリアだっ!」という声が観客から上がるほど関心は高く、本番では手拍子や指笛が絶えず、来場者がジャングリアのタオルを掲げる場面も見られるなど、すり鉢状の会場を埋め尽くした皆様と一体になったステージとなりました。フィナーレでは観客も巻き込んだカチャーシー大会が行われ、夜空を彩る花火とともに祭りの熱気は最高潮に達しました。開業から1年余り、パークの中だけでなく外の舞台で、地元で長く愛されてきたこの祭りを盛り上げる一助となれたことは、私たちにあって何よりの喜びです。これからも地域の行事に積極的に参加し、沖縄北部の魅力を共に高めてまいります。

沖縄のみなさんと、次のジャングリアへ。





株式会社ジャパンエンターテイメント

2026年9月18日